

ななかまど

一般社団法人 猿払ななかまどの会 会報

令和2年4月1日(水)

通巻第21号

発行：一般社団法人

猿払ななかまどの会 事務局

ななかまどの会1年目がスタートします。

2020年年明け早々、新型コロナウイルスの猛威でなかなか先が見通せない日々が続きますが、幸いにも宗谷管内猿払村での発症者はゼロで、感染予防を村民みんなで徹底していきたいですね。

さて、事業の拡大に伴って手が回らず会報の発行が3年間途絶えていました。村民、会員の皆様には大変申し訳なく思っています。職員が確保出来ましたので、月々のななかまどの会の活動の様子をお伝えして行こうと考えています。ご協力をよろしくお願い致します。

会発足から7年目を迎えました。この春、美深高等養護学校で学んでいた村出身の2名の子を、会ができて初めて社会に送り出しました。一人は一般就労で名寄のスーパーへ、もう一人は旭川市就労支援事業所へ行くことが決まり4月1日から働いています。これから次々に社会に出ていく子ども達の先駆けとして大変嬉しく思いますし、会の役割の大切さを痛感しています。

今後とも村民の皆様、会員の皆様のご協力ご支援をよろしくお願い致します。

卒業と進級を祝う会

去る3月1日(日)、楽遊館で村内の特別支援学級在籍児と村出身の高等養護学校卒業生と保護者、ななかまどの会員で「卒業と進級を祝う会」を実施しました。マスクとゴム手を付けて一人一人オリジナルのデコレーションケーキを作り、みんなで会食をしました。

新型コロナウイルス対策として濃厚接触できるだけ避けるよう座席を離したり、マスクとゴム手はそのままでアルコール消毒をしたり念には念を入れて。

児童・生徒には卒業と進級の思いを一人一人に話してもらいましたが、高等養護学校を卒業した二人の話に12年間の大きな成長が感じられ、目頭が熱くなりました。また、浜頓別高校に進級する子は欠席でしたが、中学校にこの春進学する生徒も3人には、エールを贈りました。

ケーキ作りの様子



道の駅 さるふつ公園売店 ななかまど

令和2年は 4月29日(水) オープン 午前10時~午後3時

例年通り「パン」を中心に、クッキーやポテトチップス、季節の野菜等を販売させて頂きます。昨年度、村の写真家小俣さんの「猿払の自然」写真集や、猿払イトウの会の「イトウのTシャツ」なども販売させて頂きました。コロナの影響で客足がどうなるか分かりませんが、障がい者の社会参加の仕事を増やすためにも引き続きお店をオープンさせます。どうぞよろしくお願い致します。(土日祝日のみの営業となります)

尚、ななかまどのパンは障がい者の方も一緒に作っています。

● 昨年度会費未納の方は 口座番号 稚内しんきん鬼志別支店 普通預金1004072へ